

Julabo Case Study 11-1

JULABO PRESTO® A40

10リットルのガラス反応容器を用いて、
+200°Cから+100°Cまでの冷却運転を実施。



目的

このケーススタディは10リットルガラス反応容器を使い、
JULABO Presto A40の冷却能力をテストします。
A40と10リットルのガラス反応容器とは、2.0mのメタルチューブで
接続されています。
A40は、+200°Cから+100°Cまで冷却されるようプログラムされています。

テスト条件

使用機種: JULABO Presto A40

冷却能力: +20°C 0.5kw
0°C 0.4kw
-20°C 0.2kw

ヒーター容量: 2.7kw

帯域制限: なし

ポンプ圧力: 0.40bar

使用液: JULABO サーマルHL40

反応容器: 10リットルガラス反応容器

容器内に10リットルのサーマルHL40を充填

温度制御: 外部制御

環境

周囲温度 +20°C

湿度 45%

電圧 230V/50Hz



テスト結果

次のページの表を見てください。

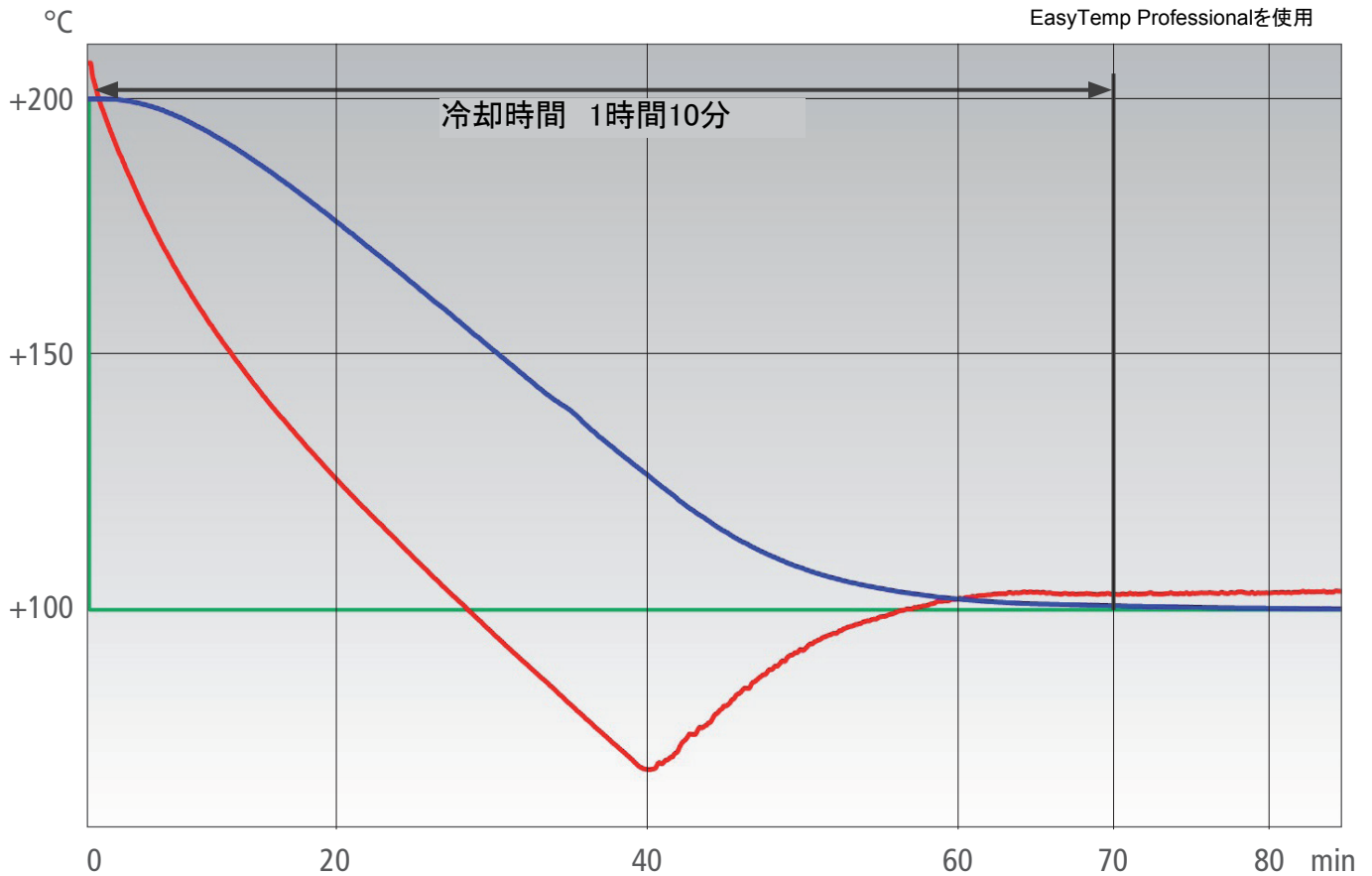
A40は、+200°Cからアンダーシュートすることなく、
1時間10分で+100°Cまで到達する事が出来ました。

その他機能:

テフロンコーティ
ングされたpt100セン
サーを使用してい
ます。
次のページにも
情報があります。

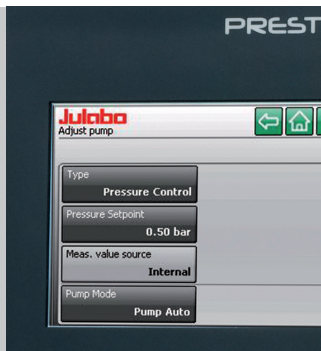


JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

その他機能:
 ポンプ圧力を調整するためのオプションがあります。ユーザーにて、ポンプ圧力を設定する事が出来ます。



その他機能:
 PRESTOの機能をイーサネットインターフェイスにて操作する事が可能です。



JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0